

公表

事業所における自己評価結果

事業所名		LEIF郡山		作成日		2026年 3月 12日		
	チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点			
環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	4	2	限られた空間の中で、児童の特性に配慮し支援を実施している。	体の大きい児童もいるので、少し狭さを感じる。		
	2	利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	6	0	サービスの提供に適切な人員配置ができるよう工夫している。			
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	4	2	手すりやスロープなどの物理的なバリアフリー化に課題があるが、生活動線や掲示物を活用し構造化を図っている。	部屋を自由に行き来できてしまうこと、外に出やすい環境であることには配慮が必要		
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	5	1	環境設定において寒さ・暑さ対策を行っている。	清潔さはあるが、室温など建物の構造上、暑すぎたり、寒すぎたりする場合がある。		
	5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	3	3	静養室にカーテンを設置しクールダウン場所としている。	カーテン等で区切られてはいるが、個室にはなっていないため、もう少し工夫が必要だと感じる		
業務改善	6	業務改善を進めるためのPDCA サイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか。	6	0	毎朝の共有や支援会議において、職員の意見が言える場を設けている。			
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	6	0	毎年実施し、その内容を職員間で共有し改善に努めている。			
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	6	0	定期的に面談を実施している。その他、目安箱を設置し随時意見が言える環境を設定している。			
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	5	1	社内における監査を毎年実施し、適正な運営に努めている。	第三者評価の実施については、今後検討していく。		
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	6	0	毎月従業員研修を実施している。その他、自治体や民間企業が実施している研修への参加の機会を設定している。			
適切な支援	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	6	0	ホームページにて公表している。			
	12	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか。	6	0	専門的支援実施を積極的に行っている。			
	13	放課後等デイサービス計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	6	0	児発管が中心となり、支援の方向性の統一や課題の抽出などを実施している。	職員間で一人ひとりが理解し、統一した支援を実施していくことが課題。		
	14	放課後等デイサービス計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	6	0	ICT化を促進し、全職員へPCやスマホを支給することで常時共通の情報が共有できるように仕組化している。			
	15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	5	1	ツールについてはブラッシュアップしながら使いやすさや活用のしやすさなどに留意している。	ツールについて検討が必要。		
	16	放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	5	1	個別支援計画書に該当事項を記載し、支援にあっている。	移行支援においては、経験値という観点から今後の課題。		
	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	6	0	療育メニューの目的やスモールゴール、役割など職員間で共有した上で、支援に当たっている。			

援 の 提 供	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	6	0	サッカー療育を中心としているが、創作活動や施設見学、園芸活動など様々なプログラムを実施している。	
	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成し、支援が行われているか。	6	0	共有時に職員間で役割を話し合い、集団と個別どちらの場合も想定した上で日々の支援にあたっている。	
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	6	0	毎朝共有の時間を設けている。また、前日の反省の時間なども設けている。	
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	6	0	毎朝共有の時間を設けている。また、前日の反省の時間なども設けている。	
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	6	0	職員で振り分けをして、利用児童の記録を行っている。	
	23	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	6	0	職員で振り分けをして、利用児童のモニタリングを行っている。	
	24	放課後等デイサービスガイドラインの「4つの基本活動」を複数組み合わせ支援を行っているか。	6	0	振り返りノートの導入や地域施設の利用、児童で話し合う時間を設けるなど4つの基本活動を盛り込み支援を実施している。	
	25	こどもが自己選択できるような支援の工夫がされている等、自己決定をする力を育てるための支援を行っているか。	5	1	個別のスケジュール表を提示する際に、活動の選択肢を記載している。自己決定を促す訓練を行っている。	
関 係 機 関 や 保 護 者 と の 連 携	26	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	6	0	関係機関との連携を図れるよう、定期的に連絡を取り、会議への参加も積極的に行っている。	
	27	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	6	0		
	28	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、こどもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか。	6	0	送迎時に学校の先生とコミュニケーションを図り、児童の様子を共有することを心がけている。	
	29	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか。	3	3		相談支援専門員が作成する過去の経歴等を読むだけになっている。
	30	学校を卒業し、放課後等デイサービスから障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか。	6	0		移行支援の経験がなく、今後の課題。
	31	地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要等に応じてスーパーバイズや助言や研修を受ける機会を設けているか。	3	3		今後、専門家等の知見に触れ、学びを深める機会を定期的に設けていく。
	32	放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会があるか。	5	1	日々の活動場所として、公共施設を利用している。そこで、地域の方々と接する機会がある。	イベントの企画などはできていないため、今後検討していく。
	33	（自立支援）協議会等へ積極的に参加しているか。	4	2	連絡会等へは毎回、出席している。	
	34	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	6	0	送迎時にその日の出来事を共有し、課題がある際には伝え、共通認識を持てるよう心がけている。	
	35	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム（ペアレント・トレーニング等）や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	3	3		事業所としての仕組が必要。人材の育成と、ツールの作成など。
	36	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	6	0	見学や契約時に丁寧な説明を心がけている。	
	37	放課後等デイサービス提供を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	6	0	今後もこの点に留意して支援にあたっていく。	
	38	「放課後等デイサービス計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から放課後等デイサービス計画の同意を得ているか。	6	0	見学や契約時に丁寧な説明を心がけている。	

保護者への説明等	39	家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	6	0	半年に1回は面談を設定し話を伺える機会をつくっている。	
	40	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機械を設ける等の支援をしているか。	0	6		今後、検討し実施に向けて準備を進めていく。
	41	こどもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	6	0	保護者へ固定電話だけでなく、携帯やLINE等を周知し、意見をや相談ができる環境を設定している。	
	42	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報をこどもや保護者に対して発信しているか。	6	0	毎月おたよりの配信とブログの更新を行い、活動の様子などを発信している。	
	43	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	6	0	PCの管理や書類について、鍵付きロッカーにて管理している。	
	44	障害のあるこどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	6	0	対象となる方のニーズに合わせ、書面（文字情報）や電話（音声情報）、メールなど、適切な手段を使い分けることで確実な情報伝達を図っている。	
	45	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	4	2		
非常時等の対応	46	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	6	0	各種マニュアルを作成して、定期的な訓練を実施している。	
	47	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	6	0	作成し、従業員研修時などに活用している。	
	48	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか。	6	0	個別の情報シートを作成し、職員間で対応を共有している。	
	49	食物アレルギーのあるこどもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	6	0	個別の情報シートを作成し、職員間で対応を共有している。	
	50	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	6	0	計画書を作成し、安全に留意して支援を実施している。	
	51	こどもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	6	0		
	52	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	6	0	共有ドライブにて常に職員が確認できるような仕組みを作っている。	定期的に確認し読み合わせをする機会を作っていくことで、より安全な支援につなげていく。
	53	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	6	0	定期的な研修を実施、レポート作成なども実施している。	
54	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、こどもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか。	6	0	事業所としてe-learningを活用し職員の理解を深めている。		